

等々力地区 町会長 ZOOM 会議に向けて

等々力地区町会連合会

吉村 俊雄

世田谷区社会福祉協議会

玉川地域社会福祉協議会事務所

後藤 真友佳、岳野 大助

(新しい生活様式 オンライン)

1. 目的

等々力地区町会連合会は9つの町会・自治会から構成され、“安全安心”をモットーに暮らしやすいまちづくりのための活動を行っている。

令和元年10月12日に襲来した台風19号は、世田谷区でも特に等々力地区 玉堤エリア、上野毛地区 野毛エリアを中心に大規模な水害が発生し、社協でも安否確認の訪問など対応した。台風19号の被害で、保坂区長が会見した内容では「ツイッターでの発信で多くの方に情報を届けられた一方で、高齢の方や SNS を利用されない方への伝達不足の課題があった」ということだった。

台風19号の災禍後、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、等々力地区町会長会議は書面開催となった。7月より町会長会議は通常の対面型で再開したが、感染予防の観点からオンラインでの会議開催を望む声があがった。オンラインの活用が見守りや防災に繋がること、会えなくてもオンライン上で顔の見える関係が継続できることなど目的に、ZOOM 体験会を行うことになった。

2. 実践内容

等々力地区町会長会議を ZOOM 開催するための体験会を行った。

日時：令和2年10月16日（金）11時～12時

内容：ZOOM 体験

参加者：9町会会長、等々力まちづくりセンター、等々力あんしんすこやかセンター、社協

講師：NPO 法人シニア SOHO 世田谷

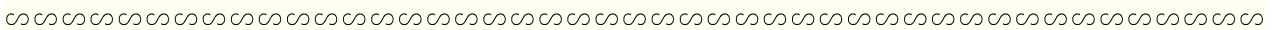


3. 結果

ZOOM 体験会を通して、各町会長より「ホストのやり方も知りたい」「町会の活動に活かしたい」などの声があがり、オンラインの便利な機能について知るきっかけとなった。その一方で普段スマホを使わない方もおり「スマホの基礎講座から時間をかけてゆっくり学んで実践したい」等の声もあり、オンラインに関する基礎講座の必要性を感じた。

4. 考察と今後の課題

ZOOM 体験会を経て、オンラインに関する知識量に個人差があり「オンラインの基礎講座」を求める声が多かった。新しい生活様式の中、“集まらずにつながる”オンラインの活用が町会長会議でスタートして、地域の見守り・防災に強いまちづくりへの一歩となるよう進めていきたい。



<助言者コメント>

土屋 典子（立正大学社会福祉学部社会福祉学科准教授）

本報告は、等々力地区におけるオンラインによる町会長会議についてその意義と課題について意欲的にまとめられた報告である。

等々力地区は、まさに令和元年10月12日に襲来した台風19号によって、世田谷区でも特に被害を受けたエリアであるが、本エリアにおいて、感染予防の観点から町会長会議をオンラインで開催することを望む声があがり、実際に ZOOM を活用してオンライン体験会を実施し、本報告ではその経過と成果がまとめられている。

結果として、ZOOM 体験会によって、町会長の方々がオンラインの便利な機能について多くを学ぶきっかけとなる一方で、オンラインに関する知識量に個人差があることも明らかとなり、その差を埋めるための「オンラインの基礎講座」などの必要性が提案されている。このことは、今後地域においてオンラインによるネットワークを構築する上での課題を先取りするものとなり、非常に意義深いものといえるであろう。

また、本取り組みにおいて、“集まらずにつながる”オンラインの活用が日常になる中、町会長自らが学び、新たな取り組みを取り入れようとする姿勢は学ぶべきものが多い。

さらに、これらの取り組みの中で、オンラインの可能性を認識しつつも、対面で人と人が出会うことの大切さを認識し、そのための方法についても模索しようとする姿から、地域住民の安心した暮らしを守ろうとする町会長の方々の真摯な姿勢がうかがわれた。

今後、地域の見守りと防災に強いまちづくりのためには、こうした町会長の方々の存在が不可欠であることを感じさせる報告であった。